梵天塚

昔、保呂羽山の神がご還幸のときに大幣（大麻）を立てた所である。俗に大幣を梵天という。その梵天塚に松の大木があり、鳥が巣をつくっていたので「塚巣」という。このことは塚巣沢（塚須沢）物語にも述べられている。